

## 機関誌編集委員会

委員長：上田 和毅

委員：秋月 種高、石川 浩三、石田 有宏、市岡 滋、稲川 喜一、  
上村 哲司、梅田 整、大城 貴史、岡崎 睦、小川 令、  
梶川 明義、柏 克彦、櫻井 裕之、佐々木 了、菅又 章、  
寺師 浩人、中岡 啓喜、永竿 智久、西本 聡、野平久仁彦、  
橋本 裕之、深水 秀一、福屋 安彦、朴 修三、細川 亙、  
本田 隆司、水野 博司、矢野 浩規、杠 俊介、横尾 和久、  
吉岡 伸高、吉村浩太郎、力丸 英明

開催年月日：平成 23 年 10 月 6 日(木)

活動の概要：1. 投稿論文進捗状況 \*平成 24 年 2 月 29 日現在

i) 郵送投稿受付分(平成 23 年 1 月～4 月 19 日)

①投稿数 50 編(総説 2、原著 13、症例 31、OA1、CR3)

②掲載決定 40 編(総説 1、原著 9、症例 27、OA1、CR2)

③進行中 6 編(原著 3、症例 2、CR1)

④却下 4 編(総説 1、原著 1、症例 2)

ii) オンライン投稿受付分(平成 23 年 4 月 20 日～平成 24 年 2 月 29 日)

①投稿数 139 編(総説 2、原著 41、短報 4、症例 90、OA1、CR1)

②掲載決定 68 編(原著 17、短報 3、症例 46、OA1、CR1)

③進行中 50 編(総説 2、原著 20、症例 27、短報 1)

④待機中 11 編(原著 1、症例 10)

⑤却下 4 編(症例 4)

⑥取り下げ 6 編(原著 3、症例 3)

※受付不可 21 編(原稿不備 18、投稿エラー 3)

\*上記投稿数には含まず)

2. オンライン投稿・査読システム運用

平成 23 年 4 月 20 日からオンライン投稿・査読システムの運用を開始した。

現在まで特に重大な障害なく運用中である。

3. 学術奨励賞候補論文候補選出

平成 23 年度学術奨励賞候補論文候補として日形会誌 (Vol. 31, No. 1～12) から 3 編、JPSHS (Vol. 44, No. 6～Vol. 45, No. 5) から 1 編、計 4 編を学術委員会へ推薦した。

4. その他

i) 一般社団法人日本熱傷学会からの要望により第 31 巻第 9 号掲載論文の表題中の語句“火傷”を“熱傷”に変更し、その旨を第 31 巻第 11 号のお知らせにおいて会員へ周知した。

ii) 第 32 巻第 1 号より表紙の色を変更した。

iii) 英文論文の投稿に対する取り扱いについて(継続審議事項)

現在、日本形成外科学会には正式の英文機関誌(Journal of Plastic Surgery and Hand Surgery, JPSHS)があるにも関わらず、日形会

誌の投稿規定では英文論文の投稿を認めている。この点を是正するため、英文論文は専ら JPSHS への投稿に移行させることとし、日形会誌の投稿規定から英文論文に関する規定を削除することが編集委員会において提案され、承認された。今後、理事会の承認を経たのち、投稿規定を改正する予定である。